

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 緊急事態宣言下で「辺野古」工事の中止を！

へり基地反対協の仲本眞事務局長らは8日、嘉手納町の沖縄防衛局を訪れ、①民意に反し税金の浪費である辺野古新基地工事を直ちに中止すること、②警備員の命を守るためにもマスクを支給することを申し入れました。

対応した梅谷晋平調達計画課長補佐は、普天飛行場の危険性除去のため辺野古移設は急務などと工事を中止しないと「思考停止」の回答に終始。警備員のマスクは再利用可能マスクを7日から着用していると説明しました。

参加者は、民意の実現のため県民は抗議行動をせざるを得ない。県民の命を守ることを優先し、政府が要請している「三密」を避けるため工事を直ちに中止すべきだと訴えました。警備員が着用始めたマスクに隙間があり感染予防の不十分さを指摘しました。



防衛局前で「税金の浪費を止めてコロナ対策にまわせ」などとシュプレヒコールを上げるへり基地反対協の人々

「三密」を避けるため中止すべき  
へり基地反対協が防衛局に申し入れ

## 県外参加自粛やマスク着用義務化など要請 オール沖縄県民会議がゲート前のコロナ防止対策を確認

参加者同士の距離を置き、ごぼう抜きは避けましょう

辺野古新基地を造らせないオール沖縄県民会議は8日、幹事会を開催し辺野古新基地阻止！ゲート前座り込み行動での新型コロナウイルス感染防止対策で以下の事項を確認しました。

- 1、県外参加者について自粛を要請します。
- 2、マスクは着用を義務とする。
- 3、県内在住で県外・国外から戻ってきたものは、2週間自重してください。
- 4、座り込みについては、以下の通りとします。
  - ① 参加者は距離を置く。
  - ② 機動隊との対応は、自主的に移動する。※ごぼう抜きは避ける。
  - ③ デモンストレーションは見合わせる。
- 5、テント内についても参加者間の距離をとる。
- 6、マイクは、スピーカー（話し手）が代わる都度、消毒用ティッシュなどで拭き取る。
- 7、送迎車両は、窓を開ける。
- 8、以上を4月9日より当面4月末まで実施する。以降については、状況を鑑み判断する。

## ゲート前は非常事態宣言の治外法権か

### 県民の抗議で警備員が「マスク」着用

政府から非常事態宣言が出された翌8日(水)のゲート前は、平和市民連絡会の高里鈴代さんのリードで約30人の県民が座り込みました。高里さんは「非常事態宣言も出ているのに、この現場で機動隊員も警備員も濃厚接触しているのは許せない。感染予防の一番の対策は工事を止めることだ」と訴えました。しかし、午前9時ころ機動隊員が基地内から出てきました。

### ♪嘘はまことに勝てない 真実は沈まない♪

そこで県民は韓国のキャンドルデモから生まれた「真実は沈まない」を合唱しました。♪闇は光に勝てない ウソはまことに勝てない 真実は沈まない 私たち諦めない♪との歌声が誇り高く響きました。マスクを着用してなかった警備員は県民の抗議でついに7日から全員口元に透明のプラスチックのマスクをつけ始めました。このあと機動隊は県民を実力で排除しました。国会でさえ議員同士距離を保ち濃厚接触を避けているのに「辺野古」は、非常事態宣言の治外法権下のようでした。



8日のゲート前。マイクを握るのは高里さん。